海部小学校で河川環境学習を開催しました。

海部小学校４年生の児童を対象に、「川の水をきれいにするための取り組み」について学習した後、身近な川の水や生活排水の水質検査、透視度検査を体験し、水をきれいにする事の大切さを学びました。

【実施概要】

日　時：平成 26 年 10 月 21 日（火）10：20 ～ 11：50
場　所：海部小学校
参加者：海部小学校　4 年生　8 名
徳島県　河川振興課　1 名
徳島県　南部総合県民局（美波庁舎）　2 名
内　容：1　川の水をきれいにするための取り組み
2　水の汚れの原因（水質実験：透視度、COD パックテスト）

【活動状況】

〇「川の水をきれいにするための取り組み」

川の役割や川と人の関わりなど、川に関する基本的なことを学びました。また、川をきれいにするための取り組みやその大切さを学びました。

〇「水の汚れの原因」水質実験（COD パックテスト、透視度測定）

はじめに、海部川の水と水道水の透視度を測定しました。測定結果は、水道水に比べ、海部川の水は透視度が低く、前日までの雨の影響もあり、海部川の水が濁っていることがわかりました。さらに、COD（化学的酸素要求量）をパックテストにより測定しました。海部川と水道水の COD を測定した結果、水道水に比べ、海部川のほうが COD が高く、海部川の水のほうが汚れていることがわかりました。また、川の汚れの原因となる生活排水として、身近にある食品（牛乳、ジュース、しょうゆ、スープ、米のとぎ汁、日本酒、焼き肉のたれの全７種類）の COD を測定しました。測定した結果、500ml の水に 2～3 滴程度混ぜたものでも 5～100mg/l と高い値を示す結果になりました。このことから、残した食べ物を安易に流しや川に捨てることによって川がどれほど汚れてしまうかを知り、水質浄化のために自分達ができることを学びました。